

大河ドラマ「べらぼう」活用推進事業の実績及び 令和8年度「江戸たいとう魅力発信」事業について

1 大河ドラマ「べらぼう」活用推進事業の実績

(1) 内容

① 区で実施した主な事業

- ・雑誌「東京人」増刊号の発行
- ・台東区循環バス「めぐりん」のラッピング
- ・江戸に関連する作品（江戸風俗人形、三浦宏氏作品）等の展示
- ・蔦屋重三郎に関する講演会
- ・史跡説明板（「吉原大門と耕書堂」ほか計3か所）の設置
- ・経済波及効果の推計（実施中） など

② 台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会で実施した主な事業

- ・「べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館」、「たいとう江戸もの市」、「江戸新吉原 耕書堂」の開設、運営

べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館	来館者数	173,618人
たいとう江戸もの市	購買者数	42,005人
江戸新吉原耕書堂	購買者数	20,601人

- ・江戸たいとう蔦重まつりの開催
- ・特設サイトや商店街フラッグ、各種イベント等でのPR
- ・江戸文化に関する実演会（浮世絵摺り、結髪）等の開催 など

(2) 成果

- ① 大河ドラマを活用した冊子の制作等により、台東区出身の蔦屋重三郎が浮世絵・黄表紙をはじめとした江戸文化に寄与した功績や区内のゆかりの史跡を知ってもらうことで、区に息づく江戸の歴史や文化の理解促進を図ることが出来た。
- ② 大河ドラマ館の開設等により、これまでの事業の参加者とは違う新しい層に魅力を発信することが出来た。
- ③ 江戸新吉原耕書堂の開設等により、北部地域における回遊性が向上し、地域の活性化に寄与することが出来た。
- ④ たいとう江戸もの市の開設等により、江戸や蔦屋重三郎に関連した商品等を通じて区内事業者のPRを図ることが出来た。

2 令和8年度「江戸たいとう魅力発信」事業について

大河ドラマ放送による関心の高まりや盛り上がりを一過性のものにしないためにも、活用推進事業の成果を活かし、江戸の歴史や文化に親しむ機会を提供するとともに、引き続き、本区に色濃く残る「江戸たいとう」の魅力を発信していく。

(1) 葛屋重三郎や江戸たいとうをテーマとした小冊子の制作・配布

葛屋重三郎の生涯やゆかりのスポット等を掲載した、まち歩きに便利な小冊子の制作・配布（令和8年夏頃予定）

(2) 講演会

江戸文化や葛屋重三郎に関する講演会の開催（年4回）

(3) 邦楽公演

江戸期に演奏されていた邦楽の公演（年1回）

(4) 上野東照宮特別公開

通常非公開の国指定重要文化財 上野東照宮社殿の内部公開（年3日間）

3 予算額（案）

7,408千円

4 今後の予定

令和8年4月以降 「江戸たいとう魅力発信」事業を順次実施

令和8年第2回定例会 文化・観光特別委員会報告